

# 今週のコロナニュース

令和3年11月15日

好きな映画は?って言われると、迷わず「インデペンデンス・デイ」って言いますよね。あれほんと好きなんですよ。別に好きな俳優が出てるとかそういう話じゃなくってあのいかにもU.S.A!U.S.A!とかアメリカバンザイ!的なストーリーが最高なんです。ホントなんにも考えなくていいというか、コレコレこれがアメリカだよ。みたいな王道ぶり。特にあのホイットモア大統領の演説のシーンなんか鳥肌モンですよ。いつか自分もあんなカッコいい演出をしてみたいものです。と思って高校時代の卒業式で全校生徒の前で演説かましたのは懐かしい思い出。学校へ行こうの未成年の主張がうちの高校に来てたら出場希望しただろうなあ。どう考えても黒歴史になりますけどね!来なくてよかった!

# 世界のコロナの状況は？

皆さんご存じのJohn hopkins大学謹製の世界のコロナMAP 減りそうで減らなくてヨーロッパがドンドン増えているんですね。



でもやっぱり死亡者が減ってきているというのは世界的な潮流みたいで、ワクチンの効果は高いようですね。日本は今のところ増えてきてません。良い傾向ではあります。



# てことは14日間も隔離する必要・・・あるの？

ワクチンを打って感染した人は体に増えるウイルス自体は同じくらいの量と言います。

ワクチンを打っていない人との違いは「減る速度」と「排出したときの生きているウイルスの割合」なわけです。減る速度が速ければ、重症化しにくくなるし、排出したウイルスが死んでいけば人に感染させないわけですね。

あとは何日間くらい人に感染させうるかをワクチン接種者でもう一度調べて、この他者への感染性がいつまで抑え込めるのか等がはっきりすればですね。



ワクチンを打っている人は人に感染させる期間が短くなるということが想定されており、感染源になりにくいというのと、おそらく14日間も人に感染させる力は無いだろうと言う事で、入国の緩和も出来るようになってきています。

日本の帰国ルールは

当初は入国後は14日間の隔離が必要でした。

それが10月からはワクチン接種者は10日間で良いよとなっていました。

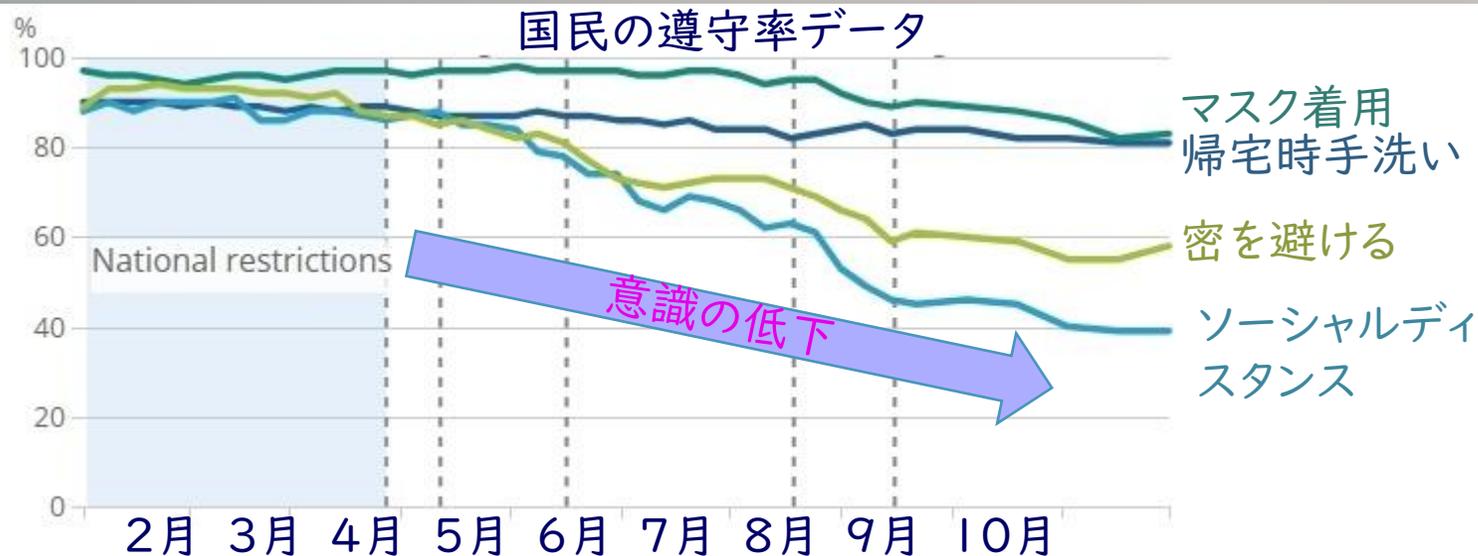
今後は

- ・ワクチン接種済みであること
- ・滞在国で帰国72時間前以内に検査して陰性
- ・日本帰国後隔離して3日目に検査が陰性
- ・4-10日目までは特定の行動のみをすると約束するなら隔離は一部解除
- ・10日目に再度検査して正式に解除

ってなっていますね。でも約束は守るためにあるのだからね!!!!

# いつものようにイギリスで見てみましょう。

イギリスは既に2回接種の人が人口の70%、12歳以上に限れば80%が済んでいます。成人の95%くらいが抗体陽性。それなりに打っているのに毎日3-4万人患者が発生しているんです。理由は以下のように言われています。



感染対策に対する意識の低下  
ワクチン接種の頭打ち  
社会における逼迫感の低下  
経済の限界  
ワクチンの予防効果低下

ちなみに、死亡率は当初2-3%といわれていたこの病気、現在では年齢などの影響もあり**0.3-0.4%**まで低下しています。

いろんな理由はあるとおもいます。ワクチンの種類もmRNAが主じゃないから若干感染予防は落ちますし。ただブレイクスルーが増えたとしても毎日感染者が3-4万人出続ける方が大変な気がするんですよね。だって毎月100万人感染するのよ。感染が連鎖し続けないと維持できない。誰かが感染しても職場や飲み会だけではそこまで拡げる事は出来ないと思うんですよね。ワクチン打っている人は他者へも感染させにくいし。

そうすると、家族にうつして拡げてもらうしかないですよね。家族で未ワクチンになりがちな人？..子供？

# 誰が拡げている中心になっているの？

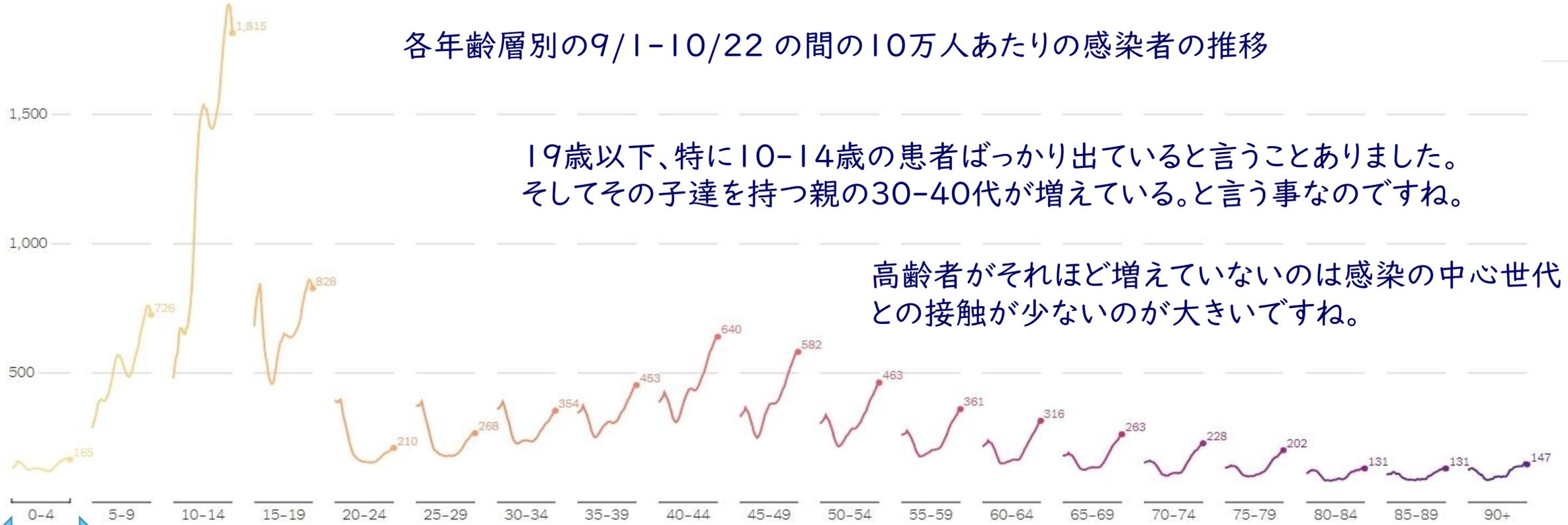
ワクチン打った人は感染する事はあってもそこから拡げることはすくないらしい。  
ワクチン接種後半年くらい経つと少し予防能力は低下するらしい。  
どうも家族みたいに一緒にいる時間が長い方が感染しやすいらしい。  
じゃあ今ワクチンをまだ打っていない人は？

そういうことです。

各年齢層別の9/1-10/22の間の10万人あたりの感染者の推移

19歳以下、特に10-14歳の患者ばかり出ているということがありました。  
そしてその子達を持つ親の30-40代が増えている。と言う事なのですね。

高齢者がそれほど増えていないのは感染の中心世代との接触が少ないのが大きいですね。



ワクチン接種問わず感染し、子供に感染させる大人  
ワクチンをまだ打っていない子供と、そこから感染を受ける大人  
この2つの人口層が次にケアすべき集団になっているのです。そうするとやることは分かりますよね。

# 英米では5-11歳の子供へのワクチン接種が開始されました。

流れるようにそうなりますよね。このほどファイザーのワクチンの5-11歳への子供達への臨床試験が終わりました。5-9歳へは有効性と安全性を考慮して大人の量の1/3にしたものを使用されています。

## ワクチン打った子 1517人



いつものように、ワクチンとプラセボ(偽薬)を注射した子供達に対してだいたい2-3ヶ月間のフォローアップをしました。

ワクチンによる重篤な副反応は1例もなかったと言う事でした。

接種後の抗体の高さは、16-25歳の年代と比べてもほぼ一緒(1.04倍)であり十分な高さだったと言う事でした。

## 偽薬打った子 751人



ワクチン接種の子は3人、未接種の子は16人発症して、そのワクチンの予防効果は**90.7%**と言う事でした。

という結果をもって開始されました。子供はいくら軽症で済むと言えども、感染源になって家族に感染させて家族が亡くなったら孤児となってしまいます。子供にワクチンを打たせるのは、子供を直接の感染から守るとともに、子供を守る大人も守るため、という視点があるわけですね。

# 子供の重症化ってのはどのくらいの頻度なの？



	英国における人数	英国の18歳以下の全死亡者 (3080人)		英国の18歳以下の新型コロナ死亡者 (25人)	
		18歳以下の総数	各病態10万人あたりの 想定死亡者数/年	18歳以下の総数	各病態10万人あたりの 想定死亡者数/年
18歳以下の子供全員	12,118,268 (ref. <sup>13</sup> )	3,080	25.4 (24.5-26.3)	25	0.2 (0.1-0.3)
悪性腫瘍	1,065 (ref. <sup>23</sup> )	137	12,864 (10,800-15,207)	1	93.9 (2.4-523.2)
余命に影響する神経の病気	14,626 (ref. <sup>18</sup> )	357	2,441 (2,194-2,707)	13	88.9 (47.3-152.0)
余命に影響する病気	86,625 (ref. <sup>18</sup> )	974	1,124 (1,054-1,197)	15	11.5 (5.6-21.2)
先天性心疾患	90,000 (ref. <sup>24</sup> )	458	508.9 (463.3-557.7)	1	8.9 (3.8-17.5)
てんかん	90,000 (ref. <sup>25</sup> )	199	214 (185-246)	7	7.5 (3.0-15.5)
喘息	1,100,000 (ref. <sup>26</sup> )	58	5.3 (4.0-6.8)	3	0.3 (0.06-0.8)

英国さんがまた子供達のデータを出してくれました。こういうのをちゃんと定期的に出してくれるのはエライですよ。難しい表ですが、たとえば悪性腫瘍なら「英国には18歳以下の悪性腫瘍患者は1065人いて、2020年は137人亡くなった。もし10万人いたら12864人が亡くなる計算となる。その子達はコロナで1人亡くなった。10万人コロナになっていたら93.9人亡くなる計算になる」と言う事ですね。要するにその病気を持っていると、コロナにかかったら病気がない子と比べてどのくらい命に関わるかと言う事です。

「病気がない18歳以下の子供は100万人に2人死亡するレベルだが、亡くなった25人は重度の病気がある子がほとんどを占めていた」となります。これをどう解釈するかは立場によって変わるのでしょうが、予防や治療が出来るに越したことはないのだからやはり患者数が増えないことが一番だとは思いますがね。

# 再感染は重症化しないの？

ワクチン打った人は重症化予防ってよく言われますよね。なんで？抗体があるから。てことは感染したことがある人の再感染は抗体があるから重症化しないんじゃない？と思うのは自然ですよ。てかそもそも再感染ってこれだけ世界中で感染者が出ているのに話題にならないけどどうなのよ。って事ですね。

とりあえず再感染する人が稀というのは多くの報告で言われておりますが、再感染するのは頻度的には**0.03-0.7%くらい**という事みたいです。

んで最速で1回目の感染から45日くらいで起こるとも言われていますが稀です。だいたい再感染するとしても6-7ヶ月くらい経ってからというのが定説らしいです。当たり前ですけど、感染リスクの高い活動をしている人ほど再感染しやすいと言う事みたいです。女性、免疫不全、成人、1回目が重症、などがリスクが高いそうです。

じゃあ2回目のほうが重症化するかって言うと…。実は世界で2億人も感染者が出ている病気のくせに誰も明確なデータ出してないんですよ。時折再感染者で重症者が報告されますけど、重症だから報告されているだけで、めっちゃ軽症でそもそもPCRも全くしないけど再感染している人が山ほどいるんだったら母集団がわかんないですもんね。

今ある情報だと、おそらく感染してからの免疫能力自体は1-2年くらい保たれるけど再感染自体は6ヶ月くらいしたらポツポツ報告され始める。でも重症化しやすいという明確な根拠はなく、むしろ軽く済む人のほうが多いだろうと推定されている感じですね。

# しかも何がややこしいって・・・

アメリカでの最近の話では 感染後90日以上経った人と、ワクチン接種後90日以上経った人を比較したら

既感染者のほうがワクチン済の人より **5.49倍** (再)感染をしやすかった!

ってなってるし。

イスラエルではpreprint論文だけど

ワクチン済の人のほうが既感染者より **13.06倍** 感染をしやすかった!

ってなってる。。

どっちやねん!と。

おそらくその人達の行動パターンが国によってかなり差があることが原因なのかもしれませんよね。

ワクチン打ったからウェーイってなって騒いで感染する人が多いのか、感染したことあるから安心してワクチン打たずにウェーイってなって騒いで感染する人が多いのか。とか。

幸い、1回目より重症化するって話ではないから少なくとも再感染が重症化しやすくなるって話ではないとは思いますがね。

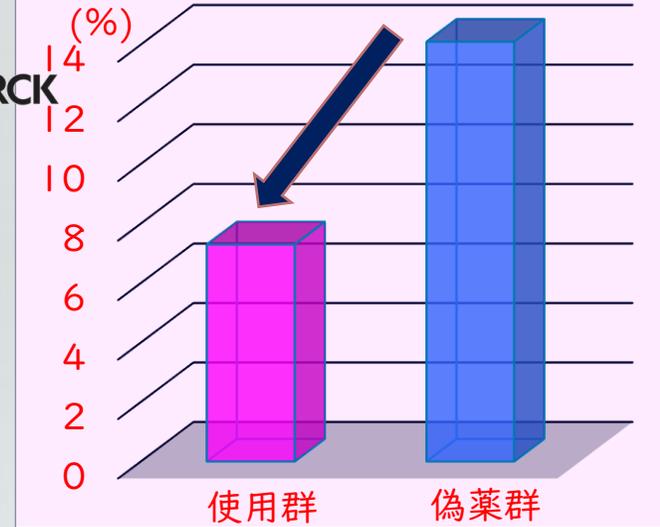
まあ何よりみんながこれ以上かからないことが一番ですね。(強引なまとめ)

# なんか内服薬の話が出てきましたね。

約200人の治療で  
入院や死亡が約50%ダウン！！



モルヌピラビル



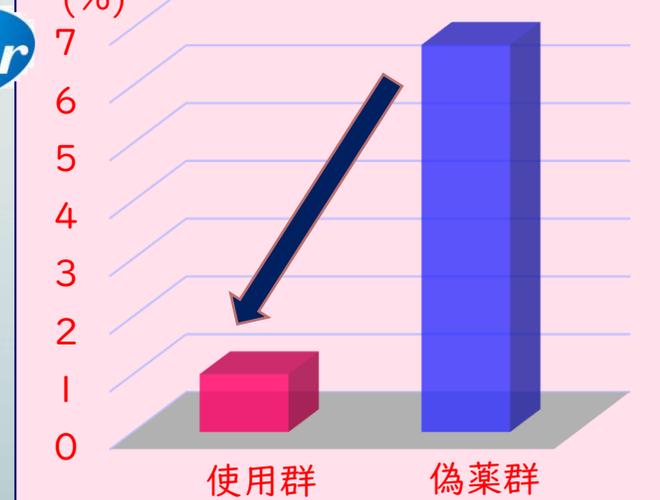
個人的には抗体カクテル療法でもう勝負ありと思っております。あれ本当に有効だから、発症直後の人全員使えばもう怖くないんじゃないかなと。でも変異とかでいきなり効かなくなってもイヤだからやっぱり治療の選択肢は多い方が良いわけです。

いずれも内服薬で1日2錠 5日間  
内服することによって有効性が出るようですね。  
なんでも、内服した人達は死亡が0人だったと言う事でほぼ抑え込めたとか効きすぎでしょコレ！

約800人の治療で  
入院や死亡が約89%ダウン！！



パクスロビド



どこでも治療するんだったら内服薬が出来るのが一番ですね。  
値段にすると1人あたり7-8万円くらいという話がありそうですが、入院が減ってくれるならかなりのメリットはありますね。  
ちなみに安全性もかなり高いのですが、パクスロビドのほうはHIV治療に使われるリトナビルっていう成分が入っているから他の薬との飲み合わせ注意なものがあります。

モルヌピラビルは英国では11/4から承認されました。  
アメリカでもそのうち使えるようになって日本でも年内くらいが検討らしいですね。

# 効き目が長い抗体療法も研究中らしいゾ

従来の抗体(カクテル)療法は、注射した後の抗体の持続期間がだいたい4週間くらいで消退しちゃうそうです。それでも重症化しなければいいんですけど、例えばワクチンアレルギーがある人や、免疫不全でワクチンを打っても抗体を作れない人がいます。そういう人に対して、もっと長く体に残る抗体薬があればいいのにー。って思っていたら、既に研究中なわけですね。AZD7442(tixagevimab/cilgavimab)って薬です。

## TACKLE試験

症状発症5日以内の患者の重症化or死亡  
投与群 9/253 (3.6%) プラセボ 27/251  
(10.8%)

リスクを67%減少

## PROVENT試験

予防目的でワクチン有効性が低いと考えられる集団への投与  
免疫不全者、高齢者、ワクチン無効者に期待

リスクを77%減少

効き目が長いから一日2回どころか、抗体の半減期の延長により6-9ヶ月間、高い持続効果があるとかいう話。これだけ長いこと予防できるなら流行期などもワクチンが打てない人の治療として選択肢が期待できますね。

# まとめ

日本の患者さんがすごく減ってくれて嬉しい限りですね。夏くらいに当地域での集団接種が始まった時に、会場でそこで接種業務をしている方々になんかコメントしてくれって言われて「今皆さんがやってくれていることは派手ではないかもしれないけれど、3ヶ月後に必ず効果が出ます。この地域のヒーローは皆さんです」ってカッコつけて言ったんですが、その通りになっていると思います。

なんか諸外国より日本のほうがオソマツなコロナ対策しているっていう論調が世の中にありますけど、ほとんどの人は真面目にやってくれているし、その結果ここまで抑え込めているわけですよ。もっと日本は誇っていいのにね。。

諸外国はワクチン開始から8ヶ月前後で患者が増え始めるっていう空気があり、日本も同じだとすると、この11月から年末年始にかけて増加する可能性は否定できません。でも治療薬や対応方法などがしっかりと出始めており、きっと次の波が来ても対応できる力はあると思います。

もし次の波が来たとしても、それをコントロールできる社会が日本にできたなら、その時こそ、コロナからのインデペンデンス・デイになると思います。気を抜かず頑張ってください。